

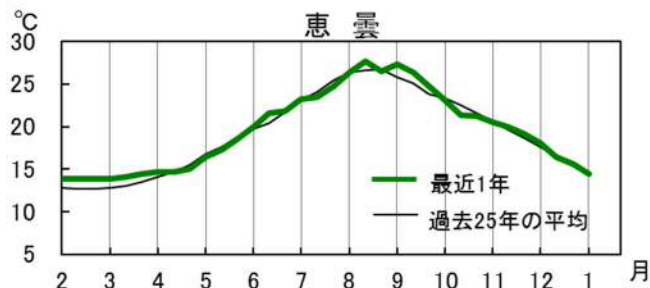
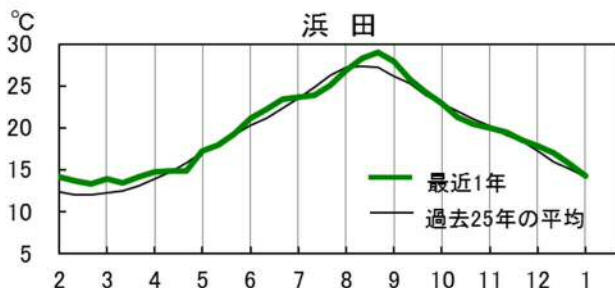


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《12月の海況》



12月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	16.8℃	+0.7℃	平年並み	16.6℃	-0.2℃
中旬	やや高め			平年並み		
下旬	やや高め			平年並み		



《12月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サワラ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は9.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは109トンで平年の5割、サワラ類は22トンで平年の1.4倍でした。隠岐地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は18.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは1,211トンで平年の6割、マアジは602トンで平年の3.6倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は2.4kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は12.0kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではヤリイカ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は15.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ヤリイカは平年の4.1倍、ソウハチは平年の1.1倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.8倍でした。その他、イボダイは平年の6.6倍、マダラは平年の1.9倍と好調でしたが、ムシガレイは平年の8割、キダイは平年の5割、アンコウは平年の7割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアンコウ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は247トンでした。1統1航海当りの漁獲量は908kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アンコウは平年の1.5倍、アナゴ・ハモ類は平年の2.3倍と好調でしたが、ソウハチは平年の5割と低調でした。その他、イボダイは平年の2.2倍、マトウダイは平年の1.4倍、アカムツは平年の1.0倍、ヤリイカおよびキダイは平年の8割、マダラは平年の7割、ニギスは平年の6割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は11.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の7割、ブリが1.2倍でした。石見地区ではサバ類、マアジ、ケンサキイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は5.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の3割、マアジは4割、ケンサキイカは2.3倍でした。隠岐地区ではマアジ、カワハギ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は2.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の8割、カワハギ類は1.4倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は30.2kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の5割でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.7kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の1.2倍でした。隠岐地区ではクロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロが平年の5割でした。

【令和2年12月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サワラ類	112トン	61%	28%	9.3トン	87%	35%	▲
	隠岐	ブリ、マアジ	2,125トン	123%	63%	18.0トン	77%	37%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	24.0kg	16%	0.1%	2.4kg	13%	1%	▲
	西郷	スルメイカ	12.0kg	1%	1%	12.0kg	13%	13%	▲
沖合 底びき網	浜田	ヤリイカ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類	316トン	88%	100%	15.1トン	88%	100%	○
小型 底びき網	大田	アンコウ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類	247トン	70%	81%	908kg	103%	110%	◎
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、ブリ	152トン	71%	72%	11.7トン	60%	64%	▲
	石見	サバ類、マアジ、ケンサキイカ	23トン	66%	37%	5.8トン	49%	36%	▲
	隠岐	マアジ、カワハギ類	9トン	87%	39%	2.9トン	87%	33%	▲
釣り・縄	出雲	サワラ類	20.5トン	49%	47%	30.2kg	89%	80%	▲
	石見	ヒラマサ	16.6トン	44%	51%	20.7kg	79%	85%	▲
	隠岐	クロマグロ	12.4トン	37%	60%	21.1kg	58%	67%	▲

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ